



ブレーキディスク

町とともに50年
代表取締役社長の成澤昭市さん（堀内）によると、昭和40年代の舟形町には都市部に
出稼ぎに行く方も多く、町内
での雇用を拡大させることは
町にとっての大きな課題でし
た。同社が創業を開始した当
時は約100名の従業員が勤
務され、その約9割が町内在
住の方だったそうです。仕事
を求めて出稼ぎにいかれてい
た方には、町内で働くための
大きな選択肢となりました。
また、地域との関わりを大
切にしている、舟形町グラウ
ンド・ゴルフ協会（会長沼澤
一義さん）とのキリウ山形杯
の開催や若者の定住・移住に
向けた「ふながたWAKU
WAKU WORK」への参
加などを行っています。さ
らに、キリウ山形労働組合の
地域貢献も長年続けています。



ふながたWAKU WAKU WORKでは
小・中学生に鑄造技術疑似体験を提供。



9月に行われた第1回キリウ山形杯。

高品質を世界に
キリウグループの製造拠点
は、日本をはじめ世界中に16
拠点を、相互に連携した体
制で自動車産業を支えていま
す。この大きな生産規模によ
り、世界中に同社で生産され
た部品が供給され、搭載され
た自動車が行っています。
取扱う製品がブレーキ部品と
いうこともあり、世界の走行
中の安全を担っているとも言
えます。
これからも「メイドイン舟
形町」の安全・安心な製品が
豊かなクルマ社会の実現と地
域社会を支えていきます。



キリウ山形労働組合
による、国道13号か
ら向山地内のごみ拾
い活動。

【企業情報】
▼会社名/株式会社キリウ山形
▼所在地/最上郡舟形町舟形2332-1
▼設立/昭和48年9月
▼資本金/9,000万円
▼従業員数/153名（令和5年9月末）



ふながたの「お宝」。
舟形町のもの、人、場所などをシリーズで
紹介します。第7弾は「キリウ山形」です。



キリウ山形の
モノづくり

今年、創立50周年を迎えた
株式会社キリウ山形。前身の
奥羽自動車部品工業株式会
社、昭和48年に山形県開発局
舟形町からの企業誘致にこた
え、本社である株式会社キリ
ウ（栃木県足利市）の全額出
資による関係会社として、舟
形町に創立されました。創
業当初、本社の補完工場とし
て鑄造粗材のみを生産してい
ましたが、現在は機械加工ま
で一貫した生産体制を築き、ブ
レーキ部品を生産しています。
主な取扱商品は、放熱性に
優れ、安定した制動力が得ら
れるブレーキディスクと、主
に自動車の後輪に多く採用さ
れるブレーキドラムで世界中
の自動車メーカーに供給して
います。その他、空調部品な
どの様々な自動車部品も製造
しています。
現場改善力と
従業員の価値観
人口減少などの影響で年々
働き手が減少する中、同社は
この課題に対し、従業員一人

〈機械技術〉

高橋 勇介さん（長沢第3）

鑄造の次の工程にあたる
機械加工は、ブレーキ粗材
を加工し、ブレーキディス
クなど、自動車に搭載でき
る最終段階まで仕上げてい
きます。加工でもロスを少
なくし、効率よく良い製品
を造れるよう設計します。
実際に製品を搭載し走行し
ている自動車の姿には感動
し、仕事のやりがいを強く
感じます。



〈鑄造技術〉

宮崎 祐介さん（紫山）

鑄造はブレーキディスク
などの製品の元となる粗材
を造る工程です。粗材は製
品に仕上げる工程で不良品
をできる限り少なく、かつ
効率的な量産を可能とする
ブレーキ粗材の設計が必要
です。常に「ていねいなモ
ノづくり」と、生産性の向
上を意識して取り組んでい
ます。これからもいい製品
を造っていきたいです。



溶解設備は加工で発生した
切粉などを溶かしリサイク
ルする設備で、溶けた鉄は
新たな製品に生まれ変わ
ります。



株式会社キリウ山形
代表取締役社長 成澤 昭市さん



キリウ山形
ホームページ

▼問い合わせ/
株式会社キリウ山形 ☎(32) 2323



ブレーキ部品以外
の部品も数多く作
られている。